



【お知らせ】

令和5年3月6日
統合幕僚監部

統合幕僚長によるライシナ・ダイアログ2023への参加結果について

統合幕僚長山崎幸二陸将は、令和5年3月3日（金）から4日（土）の間、インド外務省及びインドのシンクタンクであるORF（Observer Research Foundation）が共催する多国籍間フォーラム「ライシナ・ダイアログ2023」に参加しました。

フォーラムでは、インド太平洋地域の安全保障環境について、様々な議論が行われました。山崎統合幕僚長は、「紛争の未来：30年間の教訓」をテーマとしたパネル・ディスカッションにおいて、アクイリーノ米インド太平洋軍司令官、クマール印海軍参謀長、キー英国第一海軍卿兼海軍参謀長、トプシー加太平洋艦隊司令官と共に、パネリストとして参加しました。

パネル・ディスカッションでは、山崎統幕長から、ロシアによるウクライナ侵略を踏まえた時代の戦闘様相に関する認識等について率直な意見をを行うとともに、法と秩序に基づく世界の維持に向け、我が国の防衛力整備のみならず、普遍的価値と戦略的利益等を共有する同盟国・同志国等と協力・連携を深めていくことが不可欠である旨、発信しました。

このほか、チョーハン印国防参謀長、アクイリーノ米インド太平洋軍司令官、キャンベル豪国防軍司令官及びキー英国第一海軍卿兼海軍参謀長との二国間会談等を実施し、情勢認識や今後の安全保障協力等について、率直な意見交換を行いました。

自衛隊は、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を守るため、引き続き同盟国・同志国との連携を強化してまいります。